

B工区地質記載シート

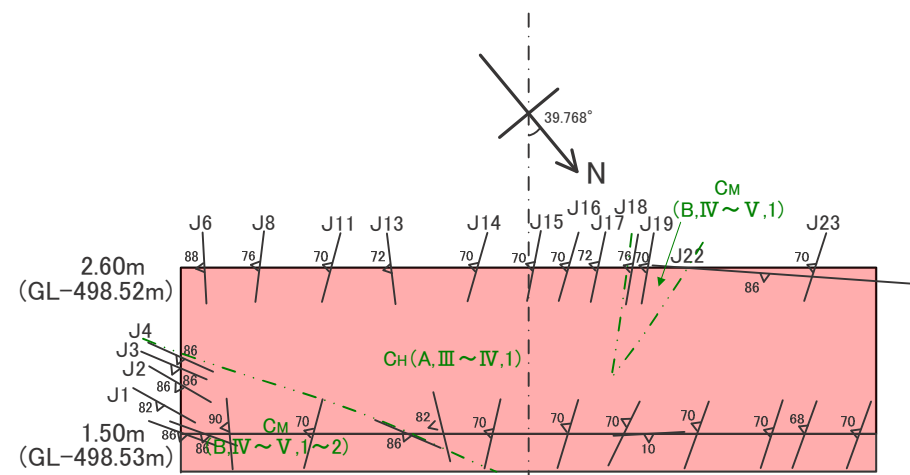
番号:B5-請負-計測工(地質)- 00038

シート番号	295	日時	2012/12/18 9:35~11:10	位置・深度	500ACS 20Br-S.ST2 G.L.-496.22~-499.98m 1.50~2.60m	観察・撮影者	
-------	-----	----	--------------------------	-------	---	--------	--

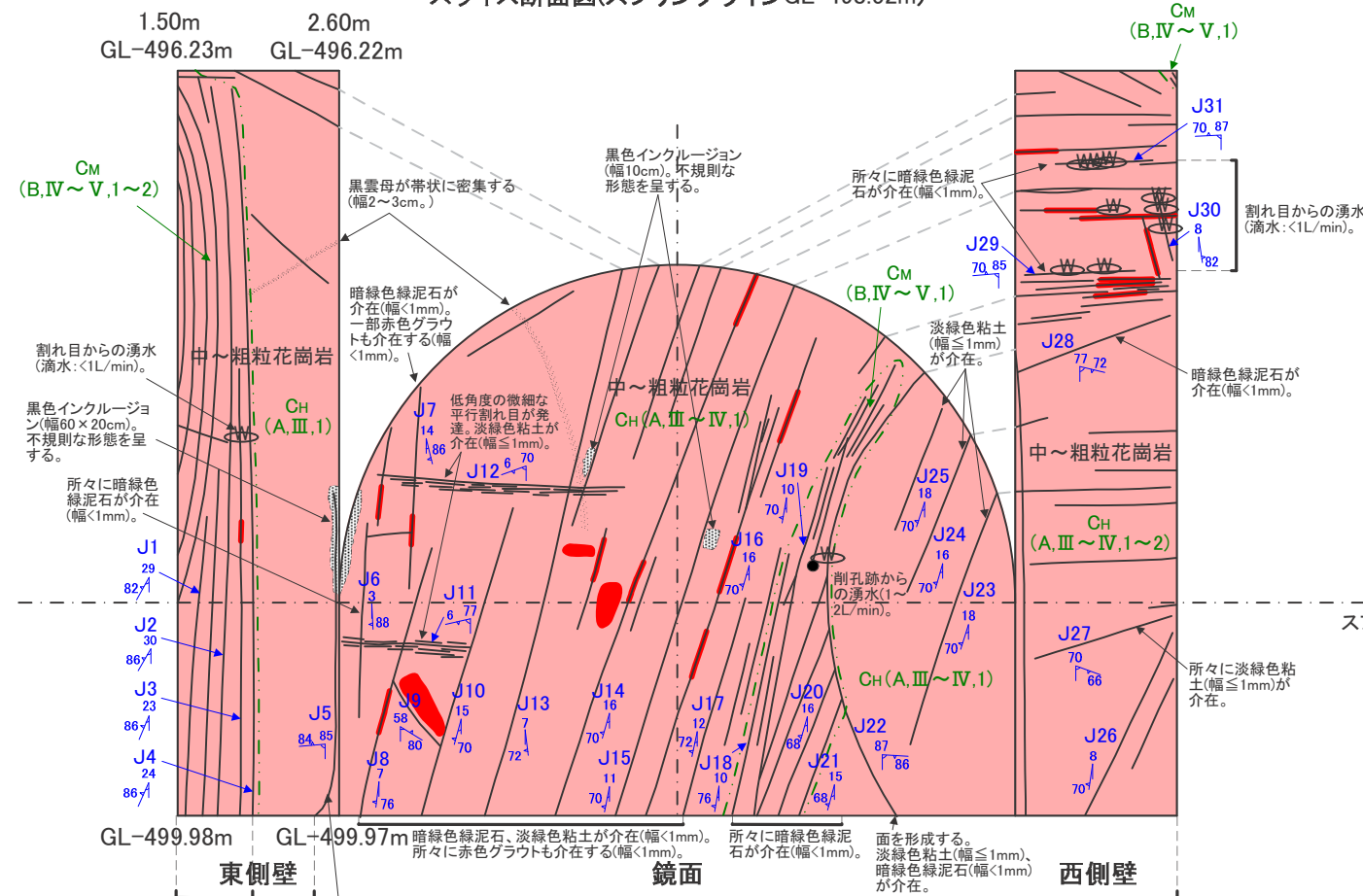
- 凡例
- 花崗岩
 - 割れ目
 - 湧水
 - 割れ目の傾斜・計測角
 - 岩級区分境界
 - 削孔跡
 - グラウト充填部
 - 黒雲母密集部
 - インクルージョン

総括監督員	主任監督員	監督員
-------	-------	-----

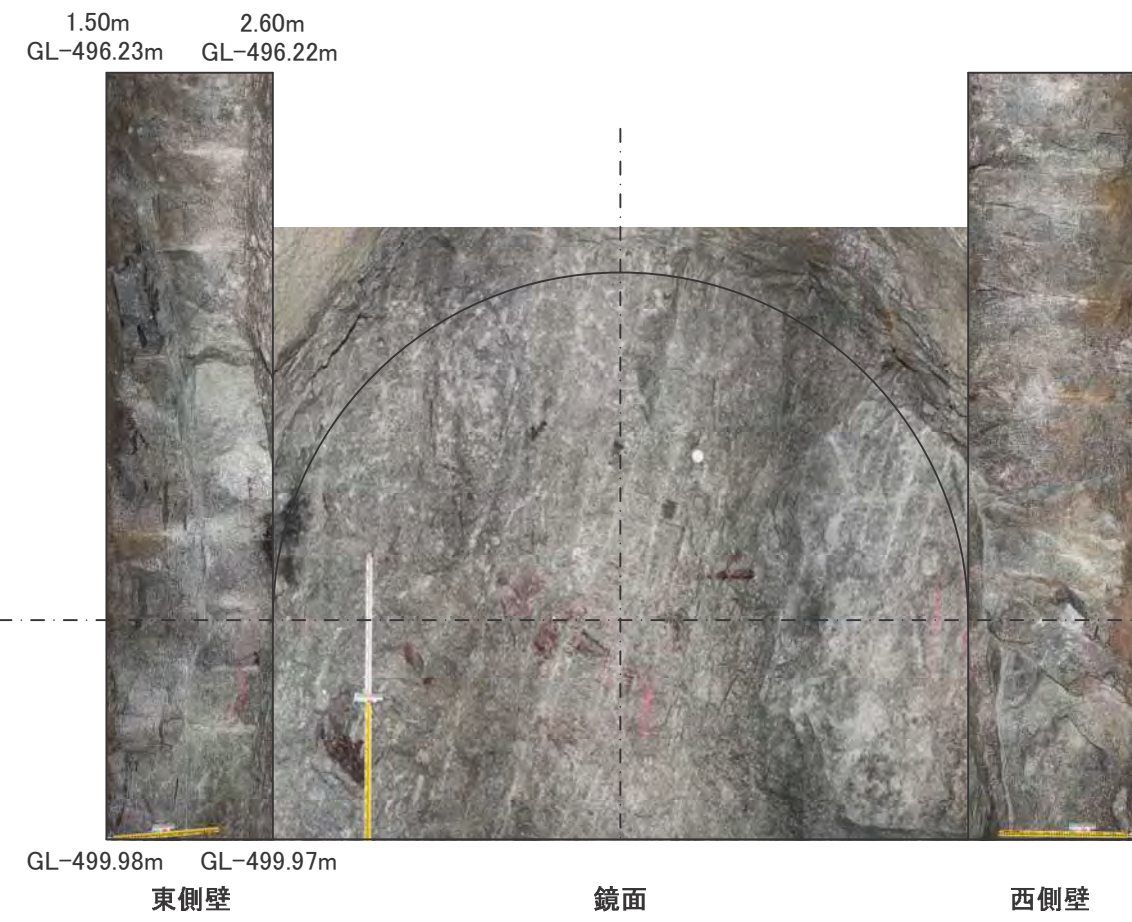
請負人 清水・鹿島・前田特定建設工事共同企業体
現場代理人



スライス断面図(スプリングラインGL-498.52m)



スケッチ



可視画像



岩種	花崗岩	風化	α(新鮮)	RMR値	-496.22~-499.98m 51
		変質	1(非変質)		
岩相	中～粗粒花崗岩(灰白色)	湧水	滲出、滴水	岩石試料番号	なし
		電研式岩級	-496.23~-499.98m CM (B,IV~V,1~2) -496.22~-499.98m CH (A,III~IV,1~2)	採水試料番号	なし

特記事項

- 中～粗粒花崗岩(灰白色): 等粒状の黒雲母花崗岩。鉱物の粒径は石英が5mm前後でしばしば複数個が1cm程の集合体をなす。長石類は3~20mmである。黒雲母は1~10mmである。有色鉱物の割合は7~10%程度である。鏡面や東側壁に不規則な形態を呈するインクルージョン(黒色・幅10~60cm)や帯状に密集する黒雲母(幅2~3cm)が認められる。
- ハンマーでの打撃音は金属音~少し濁った音であり、打撃により割れ目に沿って岩塊が剥離する。壁面全体の岩石は概ね新鮮である。変質は認められない。東側壁および鏡面西側に割れ目が発達(割れ目間隔が2~20cm)し、岩盤等級はCM級である。それ以外の箇所は割れ目間隔が10~50cmであり、岩盤等級はCH級である。
- 主な割れ目として31条を抽出した。2系統の主要割れ目が認められた。1つはNW-SE系、傾斜NE方向の高角度割れ目(80°以上)である。東側壁で卓越する(J1~J4等)。割れ目の介在物は主に暗緑色緑泥石(幅<1mm)である。もう1つはENE-WSW~NE-SW系、傾斜SE方向の高角度割れ目(70°前後)である。東側壁中央から鏡面、西側壁にかけて卓越する(J5~J8、J13~J21、J23~J25、J27~J31等)。割れ目の介在物は主に暗緑色緑泥石(幅<1mm)、淡緑色粘土(幅<1mm)である。この割れ目は西側壁で面を形成し、流れ盤を呈する。また、鏡面東側の一部に低角度の微細な平行割れ目が発達する(J11、J12)。淡緑色粘土(幅<1mm)が介在する。
- 割れ目の所々にレンズ状の赤色グラウトの介在(幅<1mm)が認められる。
- 西側壁天端付近のJ29~J31および東側壁J3の割れ目の一部から湧水(1L/min以下の滴水)が認められる。グラウト削孔跡からも湧水(1~2L/min)が認められる。その他の壁面では湧水程度の湧水が存在する可能性はある。
- 当箇所はアクセス南20mボーリング横坑(南側)であり、進行する方向はおおよそS40°Wである。観察は鏡面から2m離れた場所より目視観察で実施した。

B工区地質記載シート

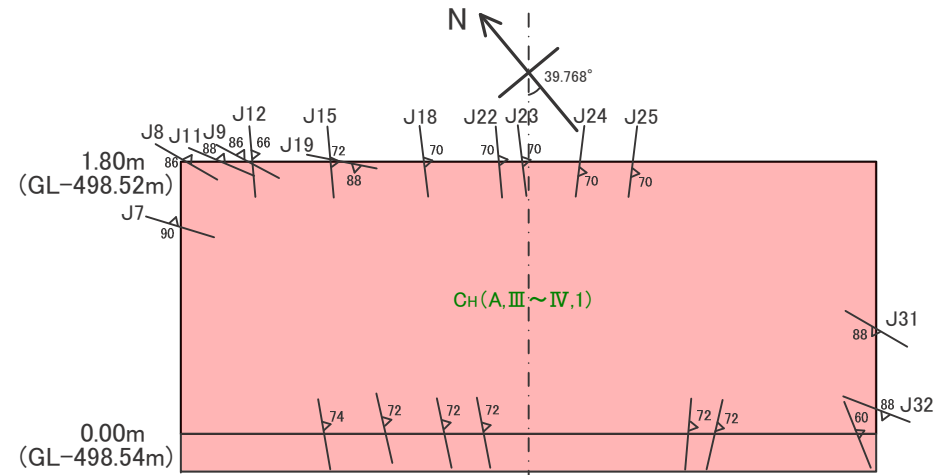
番号:B5-請負-計測工(地質)- 00034

シート番号	291	日時	2012/12/5 15:50~17:40	位置・深度	500ACS 20Br-N ST1 G.L.-496.22~-499.99m 0.00~1.80m	観察・撮影者	
-------	-----	----	--------------------------	-------	---	--------	--

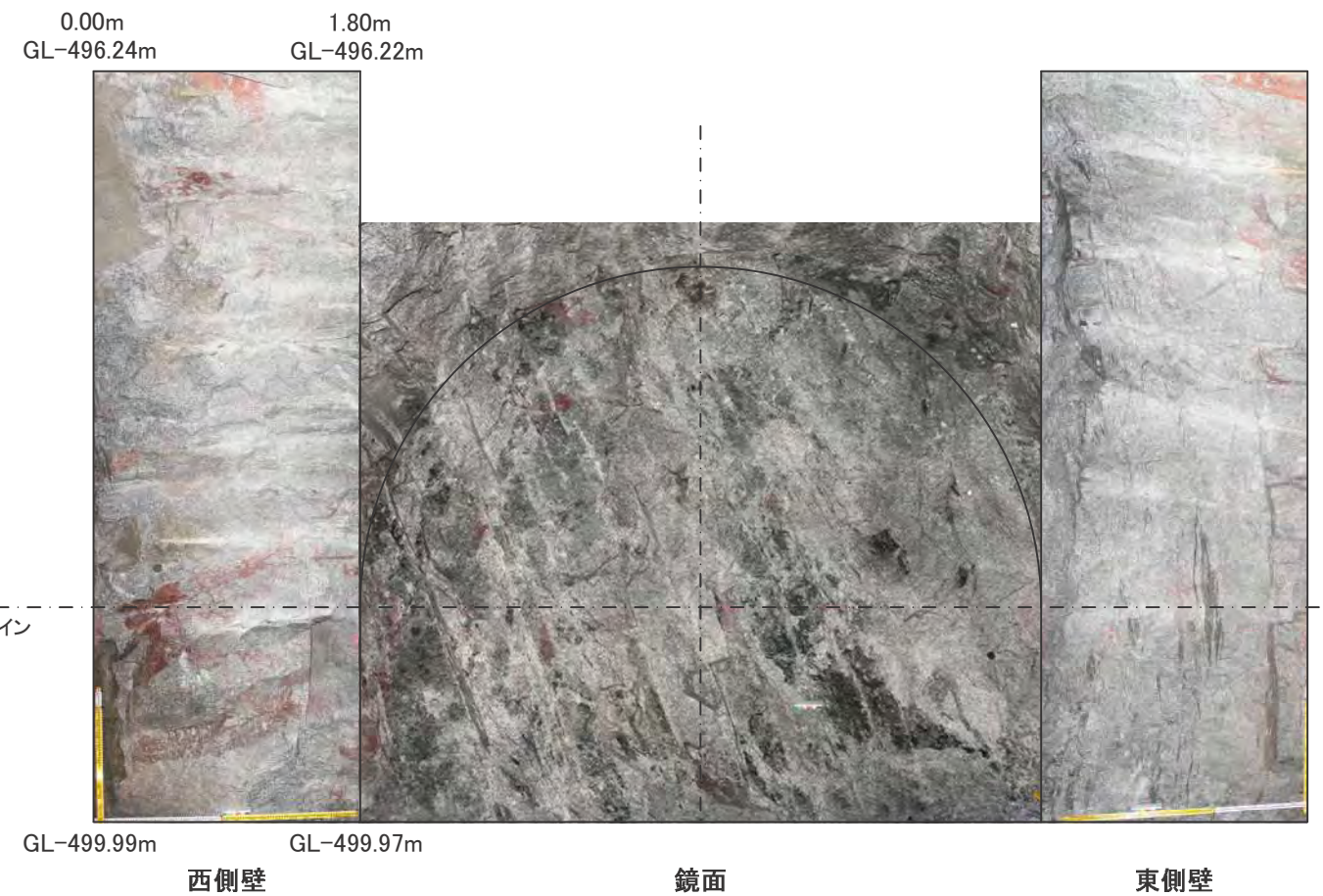
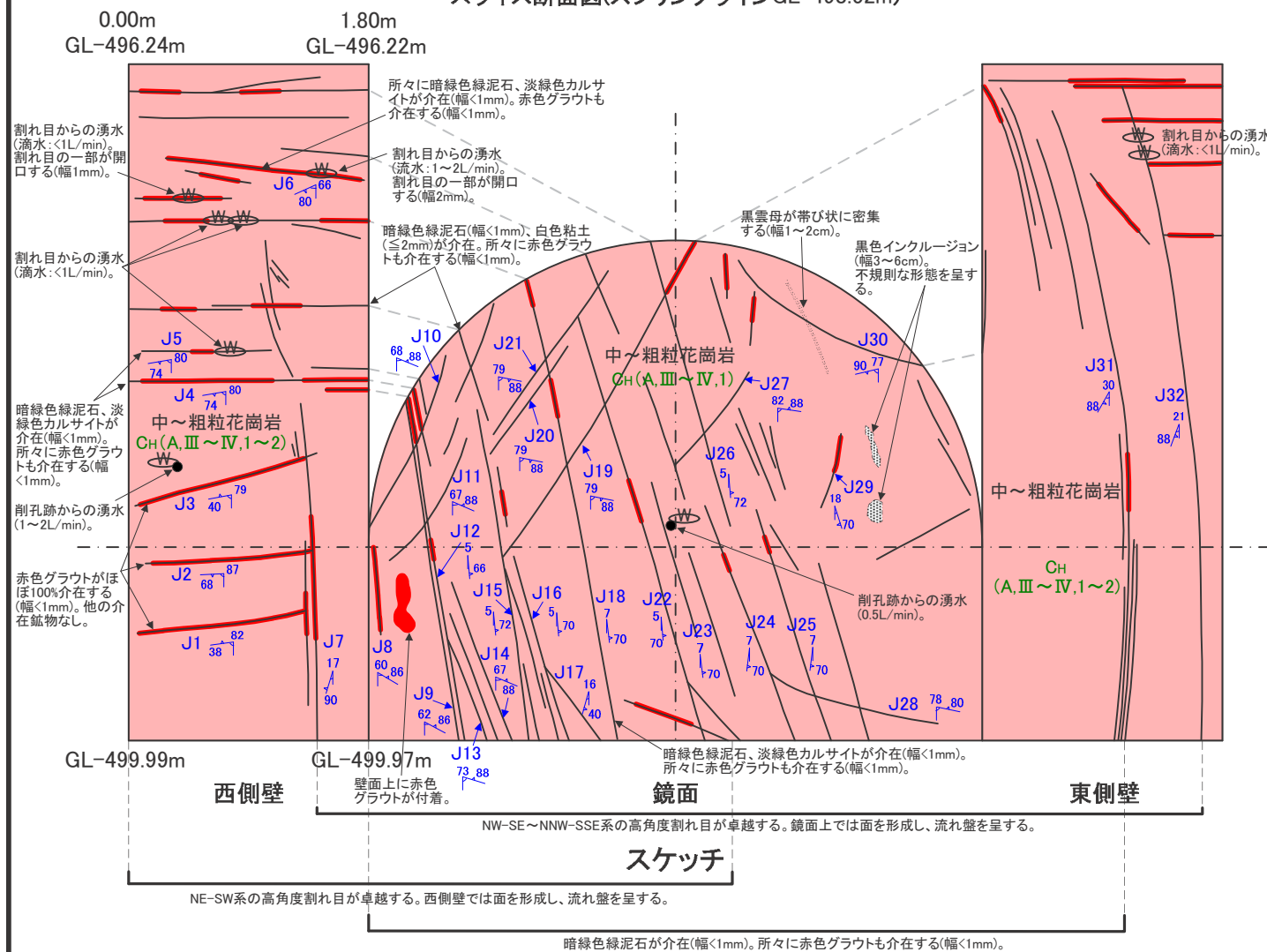
- 凡例
- 花崗岩
 - 割れ目
 - 湧水
 - 割れ目の傾斜・計測角
 - 岩級区分境界
 - 削孔跡
 - グラウト充填部
 - 黒雲母密集部
 - インクルージョン

総括監督員	主任監督員	監督員
-------	-------	-----

請負人 清水・鹿島・前田特定建設工事共同企業体
現場代理人



スライス断面図(スプリングラインGL-498.52m)



岩種	花崗岩	風化	α(新鮮)	RMR値	-496.22~-499.99m 50	特記事項	<ul style="list-style-type: none"> 中～粗粒花崗岩(灰白色): 等粒状の黒雲母花崗岩。鉱物の粒径は石英が5mm前後でしばしば複数個が1cm程の集合体をなす。長石類は3~20mmである。黒雲母は1~10mmである。有色鉱物の割合は7~10%程度である。鏡面東側に不規則な形態を呈するインクルージョン(黒色:幅3~6cm)や黒雲母の密集部が認められる。 ハンマーでの打撃音は金属音~少し濁った音であり、岩盤は比較的堅硬である。壁面全体の岩石は概ね新鮮である。変質は認められない。壁面全体の割れ目間隔は6~60cmであり、岩盤等級はCH級である。 主な割れ目として32条を抽出した。2系統の主要割れ目が認められた。1つはNE-SW系、傾斜SE方向の高角度割れ目(70°以上)である。西側壁から鏡面中央部にかけて卓越する(J4, J5, J12, J15~J18等)。割れ目の介在物は主に暗緑色緑泥石(幅<1mm)である。一部の割れ目に白色粘土(幅<2mm: J15)や淡緑色カルサイト(幅<1mm: J4, J5)を介在する。この割れ目は西側壁で面を形成し、流れ盤を呈する。もう1つはNW-SE~NNW-SSE系、傾斜NE方向の高角度割れ目(80°以上)である。鏡面から東側壁にかけて卓越する(J10, J11, J19~J21等)。割れ目の介在物は主に暗緑色緑泥石である(幅<1mm)。この割れ目は鏡面上で面を形成し、流れ盤を呈する。 壁面の多くの割れ目(特に西側壁が顕著)にレンズ状の赤色グラウトの介在(幅<1mm)が認められる。 天端部の割れ目J6の一部は幅2mm程度に開口し、湧水(1~2L/min)が認められる。また、天端部のJ5, J18, J32等の割れ目の一部からも1L/min以下の滴水が認められる。グラウト孔跡からも湧水(0.5~2L/min)が認められる。その他の壁面では滲出程度の湧水が存在する可能性はある。 当箇所はアクセス南20mボーリング構坑(北側)であり、進行する方向はおおよそN40°Eである。観察は鏡面から2m離れた場所より目視観察で実施した。
		変質	1(非変質)				
岩相	中～粗粒花崗岩(灰白色)	湧水	滲出、滴水、流水	採水試料番号	なし		
		電研式岩級	-496.22~-499.99m CH(A,III~IV,1~2)				

B工区地質記載シート

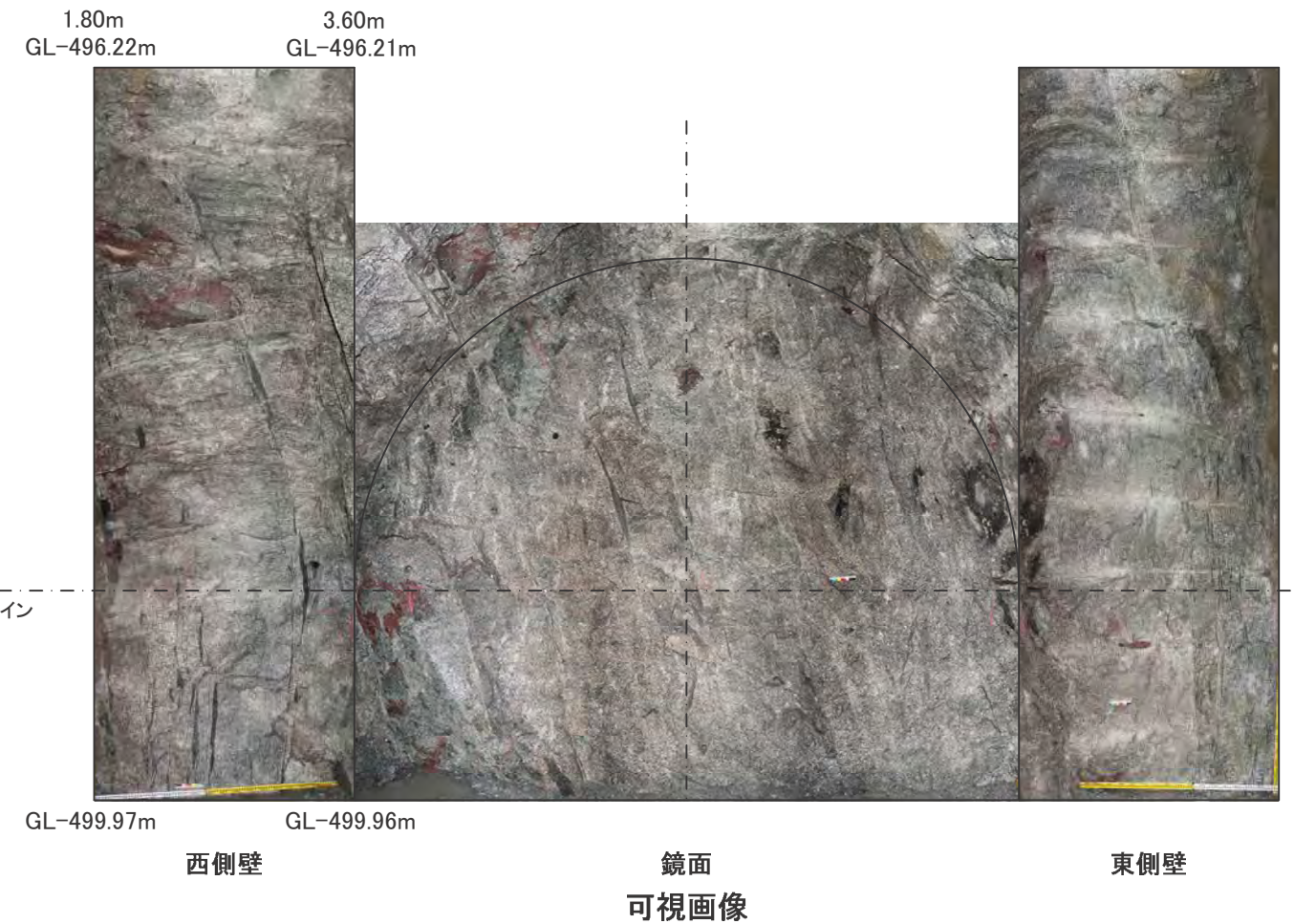
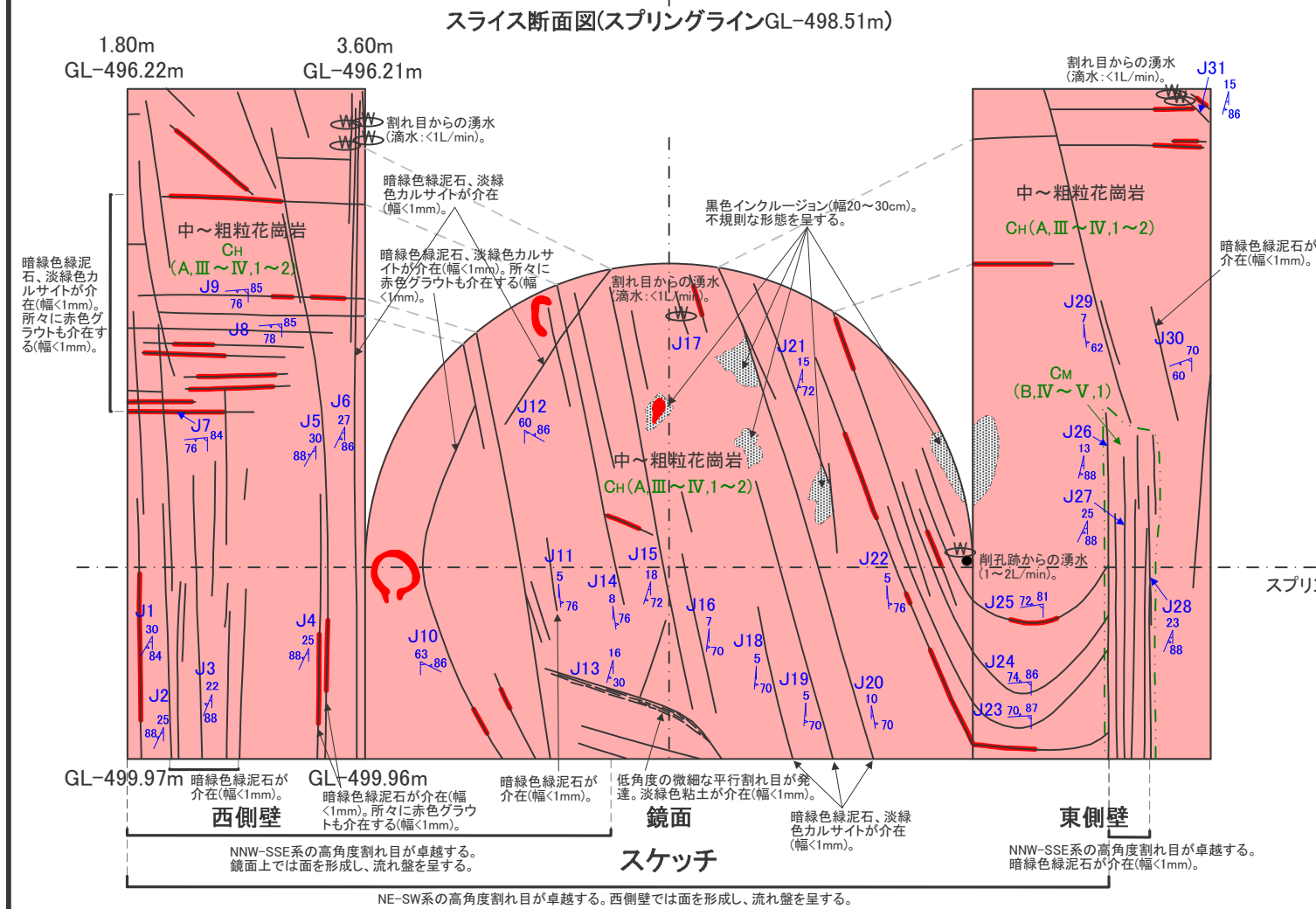
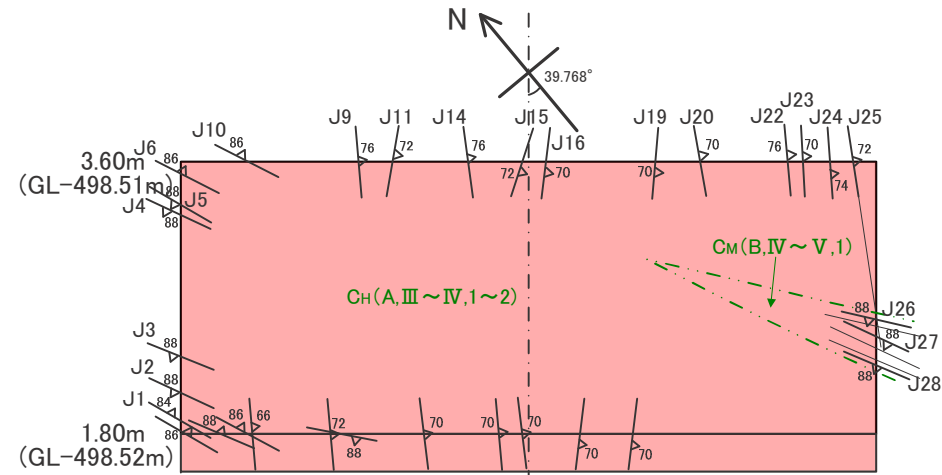
番号:B5-請負-計測工(地質)- 00036

シート番号	293	日時	2012/12/12 12:00~13:40	位置・深度	500ACS 20Br-N ST2 G.L.-496.21~-499.97m 1.80~3.60m	観察・撮影者	
-------	-----	----	---------------------------	-------	---	--------	--

- 凡例
- 花崗岩
 - 割れ目
 - 湧水
 - 割れ目の傾斜・計測角
 - 岩級区分境界
 - 削孔跡
 - グラウト充填部
 - インクルージョン

総括監督員	主任監督員	監督員

請負人 清水・鹿島・前田特定建設工事共同企業体
現場代理人



岩種	花崗岩	風化	α(新鮮)	RMR値	-496.21~-499.97m 51	特記事項 <ul style="list-style-type: none"> 中～粗粒花崗岩(灰白色): 等粒状の黒雲母花崗岩。鉱物の粒径は石英が5mm前後でしばしば複数個が1cm程の集合体をなす。長石類は3~20mmである。黒雲母は1~10mmである。有色鉱物の割合は7~10%程度である。鏡面東側に不規則な形態を呈するインクルージョン(黒色:幅20~30cm)が認められる。 ハンマーでの打撃音は金属音で少く、岩盤は比較的硬である。壁面全体の岩石は概ね新鮮である。変質は認められない。東側壁に割れ目密集部(割れ目間隔5~10cm)が帯状に分布し、打撃により割れ目に沿って岩塊が剥脱する。岩盤等級はCH級である。それ以外の箇所は割れ目間隔が6~60cmであり、岩盤等級はCH級である。 主な割れ目として31条を抽出した。2系統の主要割れ目が認められた。1つはNNW-SSE系、傾斜SW~NE方向の高角度割れ目(90°前後)である。西側壁から鏡面中央部および東側壁の一部で卓越する(J1~J6、J27~J29等)。割れ目の介在物は主に暗緑色緑泥石(幅<1mm)である。この割れ目は鏡面上で面を形成し、流れ盤を呈する。もう1つはNE-SW系、傾斜SE方向の高角度割れ目(70°以上)である。壁面全体で卓越する(J7~J9、J14~J25等)。割れ目の介在物は主に暗緑色緑泥石、淡緑色カルサイト(幅<1mm)である。一部の割れ目には介在物を伴わないものも認められる(赤色グラウトは除く。J22~J25等)。この割れ目は西側壁で面を形成し、流れ盤を呈する。 壁面の多くの割れ目(特に西側壁が顕著)にレンズ状の赤色グラウトの介在(幅<1mm)が認められる。 天端部のJ6、J17、J31等の割れ目の一部から1L/min以下の湧水が認められる。グラウト孔跡からも湧水(1~2L/min)が認められる。その他の壁面では滲出程度の湧水が存在する可能性はある。 当箇所はアクセス南20mボーリング横坑(北側)であり、進行する方向はおおよそN40°Eである。観察は鏡面から2m離れた場所より目視観察で実施した。
	岩相	中～粗粒花崗岩(灰白色)	変質	1(非変質)	岩石試料番号	
		湧水	滲出、滴水	採水試料番号	なし	
		電研式岩級	-497.36~-499.97m CM (B,IV~V,1) -496.21~-499.97m CH (A,III~IV,1~2)			

B工区地質記載シート

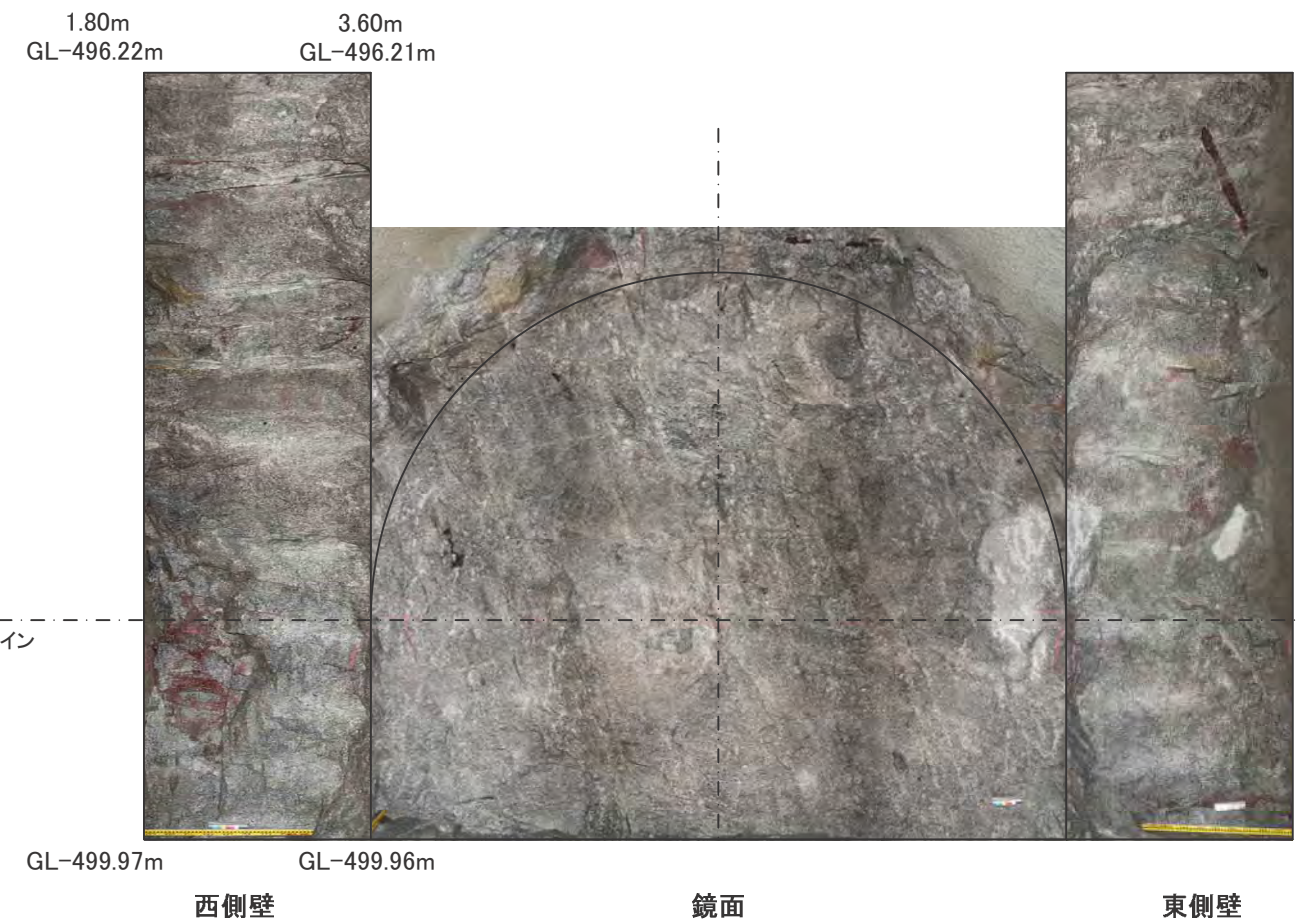
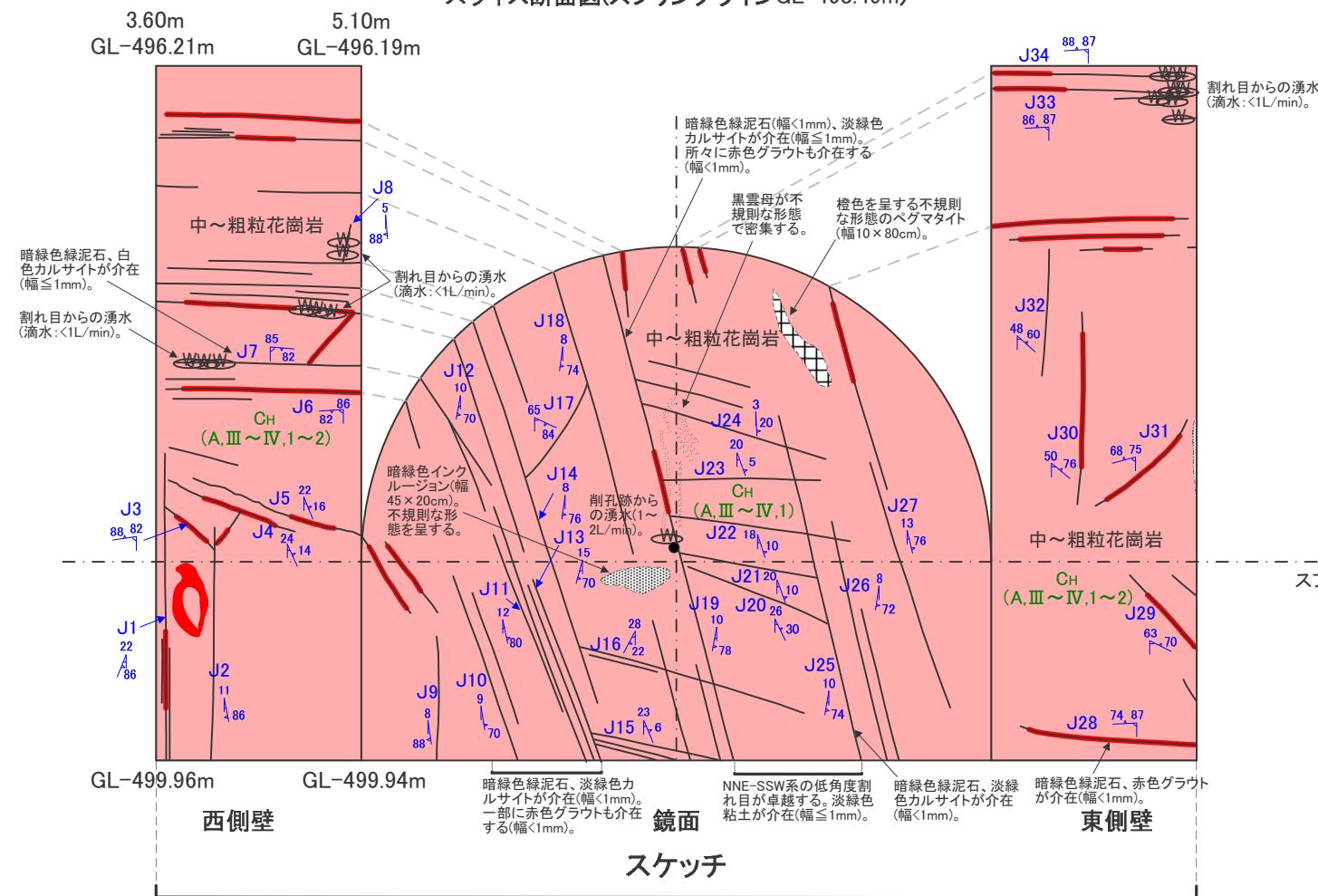
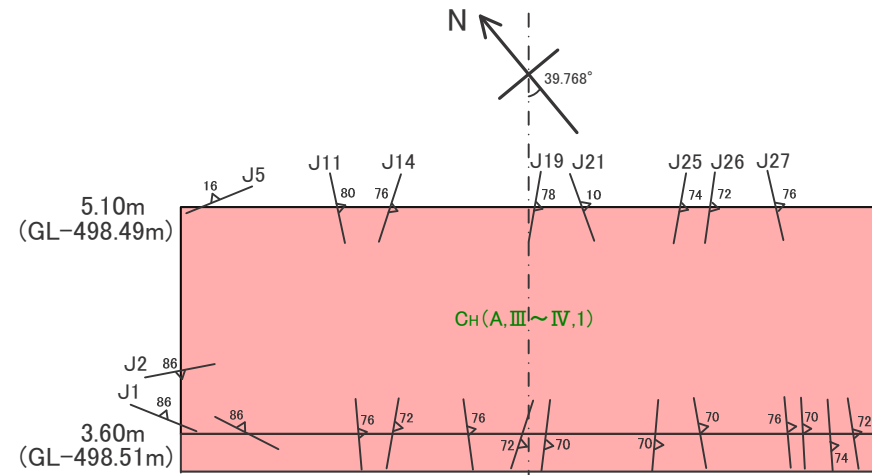
番号: B5-請負-計測工(地質)- 00037

シート番号	294	日時	2012/12/14 15:50~17:35	位置・深度	500ACS 20Br-N ST3 G.L.-496.19~-499.96m 3.60~5.10m	観察・撮影者	
-------	-----	----	---------------------------	-------	---	--------	--

- 凡例
- 花崗岩
 - 割れ目の傾斜・計測角
 - グラウト充填部
 - インクルージョン
 - 割れ目
 - 岩級区分境界
 - 黒雲母密集部
 - 湧水
 - 削孔跡
 - ペグマタイト脈

総括監督員	主任監督員	監督員
-------	-------	-----

請負人 清水・鹿島・前田特定建設工事共同企業体
現場代理人



岩種	花崗岩	風化	α(新鮮)	RMR値	-496.19~-499.96m 55
		変質	1(非変質)		
岩相	中~粗粒花崗岩(灰白色)	湧水	滲出、滴水	岩石試料番号	なし
		電研式岩級	-496.19~-499.96m CH (A,III~IV,1~2)	採水試料番号	なし

特記事項

- 中~粗粒花崗岩(灰白色): 等粒状の黒雲母花崗岩。鉱物の粒径は石英が5mm前後でしばしば複数個が1cm程の集合体をなす。長石類は3~20mmである。黒雲母は1~10mmである。有色鉱物の割合は7~10%程度である。鏡面には不規則な形態のインクルージョン(暗緑色:幅45×20cm)やペグマタイト(橙色:幅10×80cm)、黒雲母の密集部が認められる。
- ハンマーでの打撃音は金属音~少し濁った音であり、岩盤は比較的堅硬である。壁面全体の岩石は概ね新鮮である。変質は認められない。壁面全体の割れ目間隔は6~60cmであり、岩盤等級はCH級である。
- 主な割れ目として34条を抽出した。壁面全体にNE-SW系、傾斜SE方向の高角度割れ目(70°以上)が卓越する(J6、J7、J10~J14等)。割れ目の介在物は主に暗緑色緑泥石、淡緑色カルサイト(幅<1mm)である。一部の割れ目には介在物を伴わないものも認められる(赤色グラウトは除く。J6、J26、J27等)。この割れ目は西側壁で面を形成し、流れ盤を呈する。また、鏡面中央部にはNNE-SSW系、傾斜E方向の低角度割れ目(30°以下)が卓越する。割れ目の介在物は淡緑色粘土(幅≦1mm)である。
- 壁面の多くの割れ目にレンズ状の赤色グラウトの介在(幅<1mm)が認められる。
- 天端部のJ7、J8、J12、J33、J34等の割れ目の一部から1L/min以下の滴水が認められる。グラウト孔跡からも湧水(1~2L/min)が認められる。その他の壁面では滲出程度の湧水が存在する可能性はある。
- 当箇所はアクセス南20mボーリング横坑(北側)であり、進行する方向はおおよそN40°Eである。観察は鏡面から2m離れた場所より目視観察で実施した。